

Q ジオパークの今後の方向と予測は

A 日本ジオパーク認定のために最善を尽くしたい

議員 来客のための対策やジオガイドの養成、ジオサイトの安全対策は、ジオパーク推進室長 遊歩道の整備やガイド養成講座をすすめるレベルアップを図っていききたい。世界ジオパークに向けての活動としては、多言語表記は必須であり、ジオパーク間の交流、歴史的にもつながりの深い北茨城や秩父地域、また県立自然史博物館と連携を図っていききたい。

佐藤 博 議員



議員 産廃計画跡地の面積は、

企画財政課長 環境保全の森の取得は66万㎡です。
議員 70万㎡ではないか。

企画財政課長 農地と畑の合計3万8千㎡は高峰リゾートの清算人から所有権の移転をした。町税の滞納があり差し押さえしていた。

議員 高峰リゾートの滞納は6千万円程あったはず。

企画財政課長 代物弁済という形で所有権を移転、原因は売買です。

議員 登記代等が5千万、70万㎡で4億1千万は、平米単価は538円だ。荒船風穴周辺の取得価格と面積は、

企画財政課長 1万7千㎡、925万2千円程です。
議員 ㎡単価538円だ

企画財政課長 土地面積49・07㎡、1階が70㎡です。

議員 20㎡合わない。
企画財政課長 隣接者の土地を町が取得したものです。

議員 鑑定士は入れたのか。
企画財政課長 鑑定士は入っておりません。

議員 本年3月の質問で産廃計画の取得に鑑定士を入れなかったことを問題視した町長答弁があった。何故入れなかったのか。

産廃計画跡地を県道整備で県に売った面積と金額は。

企画財政課長 山林116㎡、㎡単価560円、雑種地158㎡、㎡単価610円、雑種地299㎡、㎡単価5,800円です。

議員 560円でも70㎡は約4億円となる。産廃が止まって県道整備ができ

た、評価に値する。次に財産取得委員会の1月以降の状況は。総務課長 町民の方から調査事項が出され5月に開催。一回か、規約は。

千野 榮治 議員



Q 過疎対策の取組について

A 町施設の活用や空き家対策に取り組むたい

総務課長 町長の諮問にに応じて調査を行うこと。
議員 県庁、タイムマック、山田建設等の訪問は。総務課長 しておりません。
議員 2年が経過して5回の会議で、これ以上のこ

とができないなら解散すべき。
総務課長 後に検討します。
議員 職員の皆さんにお願いしておきます、キチンと結果を出して下さい。

きたが、過疎解消には至っておりません。
議員 現在空き家対策につ

いてお聞かせ下さい。
企画財政課長 空き家等利用推進事業を実施、現在

議員 下仁田町では、地域性また、時代の流れの中で、人口流出が続いています。過疎対策にいかにか努力をしてきたか説明して下さい。
企画財政課長 昭和55年に残念ながら、過疎地域指定を受けて以来、積極的に、道路交通網、生活環境、産業振興、医療、福祉施設等の整備を行って



道平ダム周辺